

その他の文献等

- 1) 安彦泰進 (2005) 研究トピックス 有機溶剤ガス吸着剤への応用に向けた新規多孔性炭素材料の研究. 産医研ニュース 第15号, 5.
- 2) 原谷隆史 (2005) 学会だより 第12回日本産業ストレス学会. 労働科学 81(2):88.
- 3) 平田 衛 (2005) 書評 運転手の腰痛と全身振動. 労働科学 81, 99-100.
- 4) 本間健資 (2005) 巻頭言「社会とのコミュニケーション」 厚生科学 WEEKLY 平成17年1月14日号,
- 5) 本間健資 (2005) 企画調整部から 産医研ニュース No.15, 2.
- 6) 小林健一 (2005) 研究トピックス, 内分泌かく乱化学物質の影響, 産医研ニュース,15号, p4.
- 7) 久保田 均 (2005) 2006年鉄骨工インタビュー調査結果報告, 三重県建設国民健康保健組合平成17年度闘争委員会.
- 8) 金 吉晴, 井筒 節, 江幡良晴, 倉林るみい, 神山昭男, 清水隆司, 津久井 要, 永田頌史, 濱田篤郎, 福永佳寿子, 山澤文裕 (2005) 座談会 海外テロにおける邦人勤労者の精神保健対応について, p191-206.
- 9) 松延邦明, 小野真理子 (2005) この人に聞く松村芳美氏、ガス分析と歩んで40有余年. 作業環境 26(4), p4-19.
- 10) 宮川宗之 (2005) GHS (化学品の分類及び表示に関する世界調和システム) が導入されます. 産医研ニュース 16号.
- 11) 森永謙二 (2005) 第10回国際職業性呼吸器疾患会議に参加して. 労働基準 57(6), 35-37.
- 12) 明星敏彦 (2005) 編集ノート. 空気清浄とコンタミネーションコントロール 43, 172.
- 13) 明星敏彦 (2005) エアロゾル電気移動度分級装置(DMA)と関連技術の最近の進歩 特集にあたって. 空気清浄とコンタミネーションコントロール 43, 3.
- 14) 明星敏彦 (2005) 研究室紹介. エアロゾル研究 20, 71.
- 15) 明星敏彦 (2005) ナノ粒子エアロゾルの生体影響 特集にあたって. エアロゾル研究 20, 186.
- 16) 明星敏彦, 鷹屋光俊 (2005) 「ナノ粒子エアロゾルの生体影響—環境・材料分野で関心の持たれている物質を中心に—」関連用語. J Aerosol Res 20(3), 219.
- 17) 小嶋 純 (2005) 金属研磨作業に伴う粉じんばく露とその対策に関する研究. 産医研ニュース 16, 5.
- 18) 大塚泰正 (2005) ストレスを感じる人と感じない人の差はどこにあるのか? 産医研ニュース 16, 4.
- 19) 齊藤宏之 (2005) 海外情報: タイトルサービス. 作業環境 26(1), p29-30.
- 20) 齊藤宏之 (2005) 海外情報: タイトルサービス. 作業環境 26(3), p22-24.
- 21) 齊藤宏之 (2005) 海外情報: タイトルサービス. 作業環境 26(5), p23-25.
- 22) 澤田晋一 (2005) 巻頭言. 厚生科学 WEEKLY (5月27日号).

- 23) 澤田晋一 (2004) 学会報告 温熱生物学と体温調節の生理・薬理に関する第一回統合シンポジウム (PPTR2004) に参加して. 日本生気象学雑誌 41(4), 163-168.
- 24) 澤田晋一, 神山宜彦 (2005) 特集 第5回産医研セミナー. 産医研ニュース 第15号, p3.
- 25) 澤田晋一 (2005) 研究トピックス 熱中症予防の研究をどう進めるか. 産医研ニュース 第15号, p4.
- 26) 澤田晋一 (2005) 中日21世紀公衆衛生国際シンポジウム. 産医研ニュース 第16号, p2.
- 27) 澤田晋一 (2005) 新刊書紹介: WHO ブックレット「職場における心理的ハラスメントーその認識を高めるためにー」. 産医研ニュース 第16号, p7.
- 28) 鈴木 亮 (2005) キャサレット・ドールのトキシコロジー第6版 編者: カーチス D クラッセンの推薦書. 日本衛生学会雑誌号数調査中.
- 29) 鷹屋光俊 (2005) 国際規格制定の現場よりー国際標準化機構専門委員会 ISOTC146/SC2/WG2 参加記. 作業環境 26(5), 49-53.
- 30) 鷹屋光俊 (2005) タイトルサービス. 作業環境 26(2), 22-24.
- 31) 鷹屋光俊 (2005) タイトルサービス. 作業環境 26(4), 26-27.